

地域計画(変更案)

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和7年10月 日 (第1回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	香南市 (39211)
地域名 (地域内農業集落名)	西野・大谷・深淵地区 (仁尾島、上野、深淵、中組、野田、西町、中町、東町、東中筋、中筋、深淵(佐古村)、大谷、山下)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	175.8 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	126.2 ha
② 田の面積	113.0 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	13.2 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

当地区は、露地では水稻・ショウガ・ニラが、施設園芸ではニラ・ピーマン・花き(トルコギキョウ・ラン)が栽培されている。

<地域農業の現状>

西野地区は市の中心部に位置し、宅地と農地が混在している。また、担い手がいらないことから宅地への転用が多い。

大谷地区は、ほ場整備が行われておらず、狭小な区画が多く、市街地に近いため宅地への転用がある。

深淵地区は、ほ場整備地が多く、露地栽培・施設園芸ともに盛んである。また、市がサポートハウスを建設し、新規就農者の確保・育成に向けて支援を行っている地区である。

<地域農業の課題>

・宅地への転用が多くあることから、今後も優良農地の確保が難しい。

・新規就農者を確保・育成しつつ、地域住民などを交え、地域全体で農地を利用していく仕組みづくりが必要。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

西野・大谷地区は、今後も宅地化が進む見込みであるが、農地は水源涵養や緑地化、景観形成等の多面的機能を有していることから、地区内外の農業を担う者(半農半X等の多様な耕作者)の受入れや、市民農園活用等によりできる限り農地を維持していく。

深淵地区は、今後も地権者・耕作者の意向把握に努め、農地中間管理事業を活用して、地元の認定農業者や地域外から入作を希望する法人等に可能な限り農地の集積・集約化を図っていく。

地域全体で農地を利用していくため、農地を守る観点から、今後、水稻栽培を行うためにコンバイン等の機械の共同利用の仕組みづくりを目指す。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地中間管理機構への貸付けを進めつつ、認定農業者や新規就農者への農地の集積・集約化を基本とする。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	14.6	%	将来の目標とする集積率
			65 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
既存の認定農業者等が地区外の耕作地を地区内に集積・集約化することや、地区外の認定農業者、新規就農者等の受入れを行うことで農地利用の集積・集約化を促進する。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
農地中間管理機構を活用して、認定農業者や新規就農者への農地集積を進めるとともに、農用地の団地化を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
農地中間管理機構からの広報を通じて貸し借りのメリットについて知ってもらう。これにより、地域の農地の貸し借りには農地中間管理機構を活用し、担い手の経営意向に沿った農地の集積・集約化を段階的に図る。
(3) 基盤整備事業への取組
事業要望の聞き取りを行い、必要に応じて農地耕作条件改善事業等の活用を検討する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
地域内外から、多様な経営体を募集し、意向を踏まえながら担い手として育成するため、市、JA及び農業振興センター等によるサポートチームにより、就農等の相談から定着まで切れ目なく支援する。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
ニラの生産が盛んな地域であることから、今後更なる生産量拡大を図る際にはそぐりセンターの活用を勧め、出荷調製作業労力の負担軽減に取り組む。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

⑦保全管理等を進める農地については、粗放的利用による農用地の保全なども検討していく。(深淵地区の河原エリア)

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
	別紙のとおり								
			ha	ha		ha	ha		
計	128経営体		72.39 ha	0 ha		72.39 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
51	利用者	野菜	0.09ha		野菜	0.09ha		606	
52	利用者	野菜	0.02ha		野菜	0.02ha		756	
53	利用者	水稲	0.80ha		水稲	0.80ha		777	
54	利用者	水稲、野菜	0.90ha		水稲、野菜	0.90ha		837	
55	利用者	水稲、野菜	0.65ha		水稲、野菜	0.65ha		871	
56	利用者	果樹類	0.31ha		果樹類	0.31ha		910	
57	利用者	花き	0.49ha		花き	0.49ha		923	
58	利用者	野菜	0.52ha		野菜	0.52ha		952	
59	利用者	野菜	0.04ha		野菜	0.04ha		994	
60	利用者	果樹類	0.15ha		果樹類	0.15ha		1032	
61	利用者	野菜	0.06ha		野菜	0.06ha		1063	
62	利用者	水稲、野菜	0.51ha		水稲、野菜	0.51ha		1092	
63	利用者	水稲	0.21ha		水稲	0.21ha		1126	
64	利用者	花き	0.74ha		花き	0.74ha		1131	
65	利用者	野菜	0.42ha		野菜	0.42ha		1276	
66	利用者	野菜	0.14ha		野菜	0.14ha		1382	
67	利用者	水稲、野菜	0.25ha		水稲、野菜	0.25ha		1390	
68	利用者	水稲	0.09ha		水稲	0.09ha		1391	
69	利用者	水稲	0.27ha		水稲	0.27ha		1402	
70	利用者	野菜	0.35ha		野菜	0.35ha		1609	
71	利用者	野菜	0.45ha		野菜	0.45ha		1664	
72	利用者	野菜	0.12ha		野菜	0.12ha		1730	
73	利用者	水稲、野菜	0.37ha		水稲、野菜	0.37ha		1754	
74	利用者	水稲、野菜	0.40ha		水稲、野菜	0.40ha		1779	
75	利用者	野菜	0.17ha		野菜	0.17ha		1848	
76	利用者	野菜	0.46ha		野菜	0.46ha		1856	
77	利用者	野菜	0.10ha		野菜	0.10ha		1887	
78	利用者	野菜	0.29ha		野菜	0.29ha		1912	
79	利用者	水稲	0.44ha		水稲	0.44ha		1923	
80	利用者	水稲、野菜	0.24ha		水稲、野菜	0.24ha		1925	
81	利用者	野菜	0.09ha		野菜	0.09ha		1983	
82	利用者	野菜	0.20ha		野菜	0.20ha		2090	
83	利用者	野菜	0.09ha		野菜	0.09ha		2101	
84	利用者	野菜	0.39ha		野菜	0.39ha		2125	
85	利用者	野菜	0.01ha		野菜	0.01ha		2189	
86	利用者	野菜	0.15ha		野菜	0.15ha		2217	
87	利用者	水稲	0.12ha		水稲	0.12ha		2291	
88	利用者	野菜	0.27ha		野菜	0.27ha		2316	
89	利用者	野菜	0.18ha		野菜	0.18ha		2426	
90	利用者	野菜	0.15ha		野菜	0.15ha		2595	
91	利用者	野菜	0.30ha		野菜	0.30ha		2596	
92	利用者	水稲	0.09ha		水稲	0.09ha		2597	
93	利用者	水稲、野菜	0.07ha		水稲、野菜	0.07ha		2651	
94	利用者	野菜	0.06ha		野菜	0.06ha		2855	
95	利用者	野菜	0.22ha		野菜	0.22ha		2871	
96	利用者	野菜	0.24ha		野菜	0.24ha		2955	
97	利用者	野菜	0.19ha		野菜	0.19ha		3118	
98	利用者	野菜	0.17ha		野菜	0.17ha		3123	
99	利用者	果樹類	0.13ha		果樹類	0.13ha		3196	
100	利用者	水稲	0.10ha		水稲	0.10ha		3316	

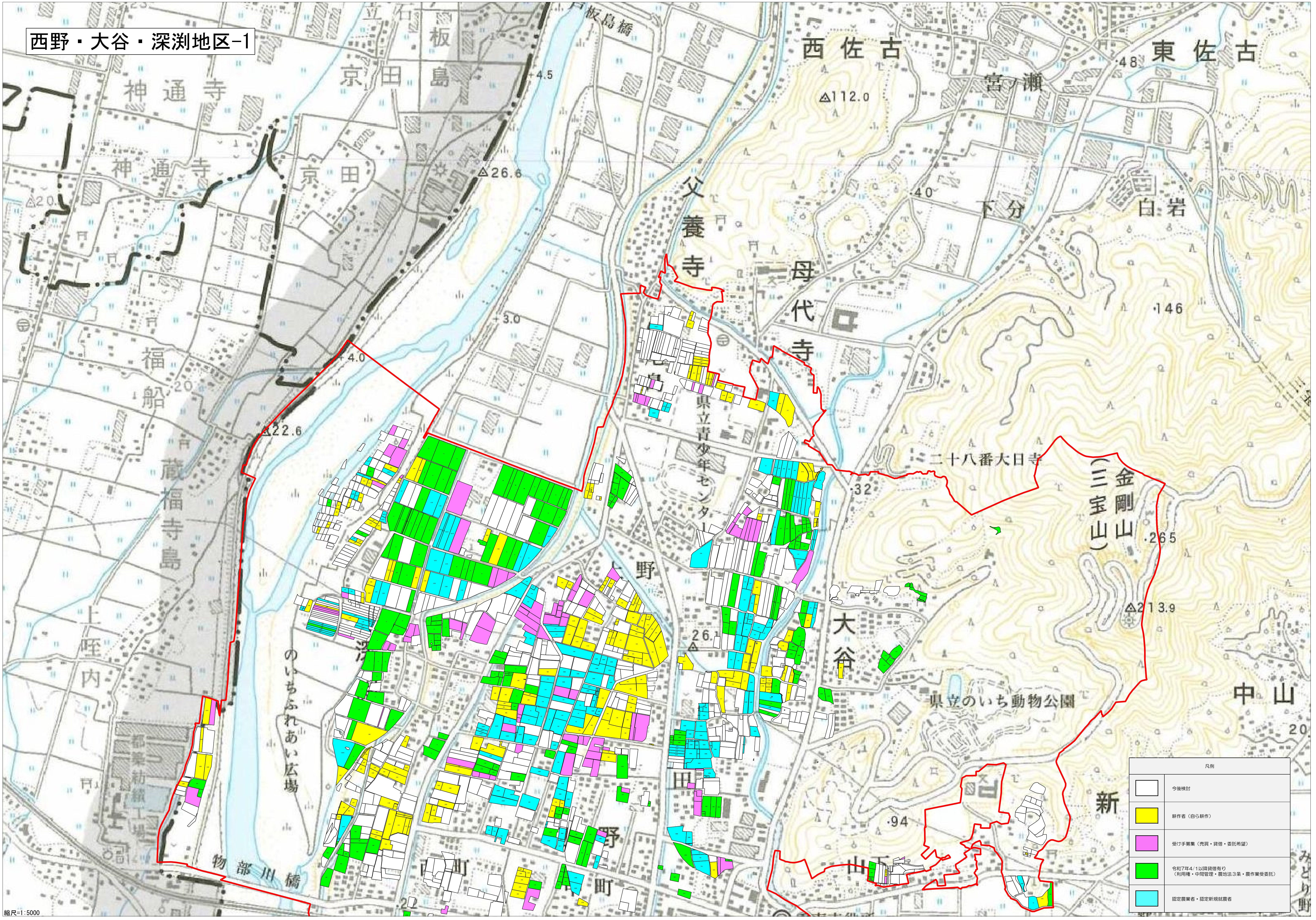
別紙1

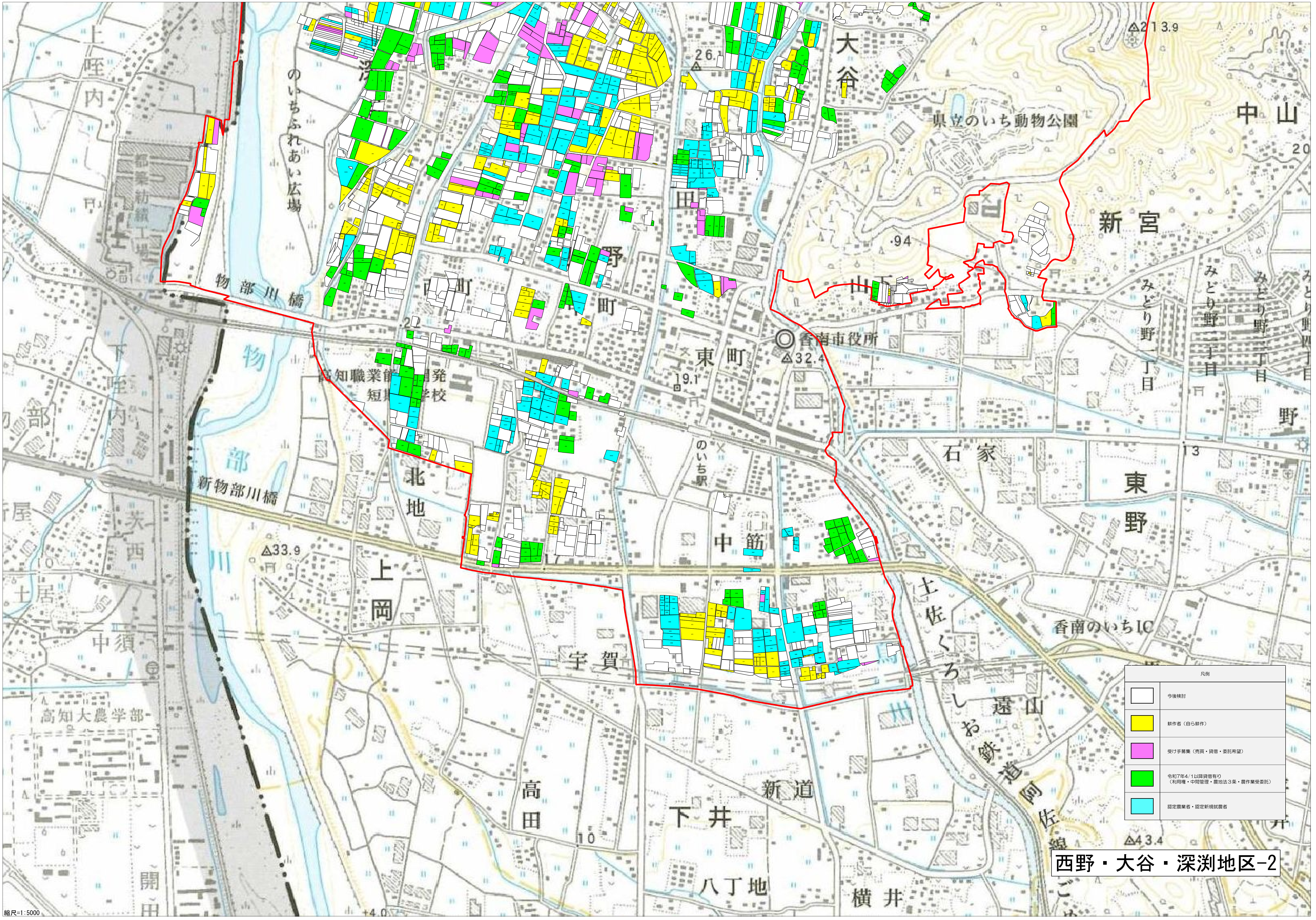
4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
1	認農	水稻、野菜	0.50ha		水稻、野菜	0.50ha		10	
2	認農	野菜	0.75ha		野菜	0.75ha		42	
3	認農	水稻	0.30ha		水稻	0.30ha		47	
4	認農	水稻、野菜、果樹類	0.21ha		水稻、野菜、果樹類	0.21ha		115	
5	認農	水稻、野菜	1.86ha		水稻、野菜	1.86ha		144	
6	認農	野菜	0.17ha		野菜	0.17ha		152	
7	認農	水稻、野菜	0.64ha		水稻、野菜	0.64ha		248	
8	認農	水稻、野菜	1.19ha		水稻、野菜	1.19ha		352	
9	認農	野菜	0.20ha		野菜	0.20ha		365	
10	認農	水稻、野菜	1.08ha		水稻、野菜	1.08ha		488	
11	認農	野菜	1.05ha		野菜	1.05ha		698	
12	認農	野菜	0.50ha		野菜	0.50ha		738	
13	認農	水稻、花き	0.88ha		水稻、花き	0.88ha		747	
14	認農	野菜	0.50ha		野菜	0.50ha		1024	
15	認農	野菜	0.73ha		野菜	0.73ha		1103	
16	認農	野菜	0.66ha		野菜	0.66ha		1211	
17	認農	水稻、花き	0.31ha		水稻、花き	0.31ha		1714	
18	認農	野菜	0.06ha		野菜	0.06ha		2008	
19	認農	水稻、野菜	0.40ha		水稻、野菜	0.40ha		2306	
20	認農	野菜	0.34ha		野菜	0.34ha		2382	
21	認農	野菜	0.16ha		野菜	0.16ha		3616	
22	認農	水稻、野菜	7.86ha		水稻、野菜	7.86ha		9998	
23	認農	野菜、果樹類	1.38ha		野菜、果樹類	1.38ha		10005	
24	認農	水稻、野菜	0.53ha		水稻、野菜	0.53ha		10010	
25	認農	水稻、野菜	0.86ha		水稻、野菜	0.86ha		10011	
26	認農	水稻、果樹類	0.02ha		水稻、果樹類	0.02ha		10015	
27	認農	野菜	0.86ha		野菜	0.86ha		10018	
28	認農	水稻、野菜	0.20ha		水稻、野菜	0.20ha		10023	
29	認農	水稻、野菜	0.11ha		水稻、野菜	0.11ha		10033	
30	認就	野菜	0.39ha		野菜	0.39ha		10059	
31	認就	野菜	0.26ha		野菜	0.26ha		3226	
32	認就	野菜	0.67ha		野菜	0.67ha		4370	
33	利用者	野菜	12.04ha		野菜	12.04ha		12	
34	利用者	水稻	1.31ha		水稻	1.31ha		41	
35	利用者	水稻	1.03ha		水稻	1.03ha		98	
36	利用者	野菜	2.37ha		野菜	2.37ha		102	
37	利用者	野菜	2.18ha		野菜	2.18ha		148	
38	利用者	野菜	0.30ha		野菜	0.30ha		151	
39	利用者	水稻、野菜、果樹類	1.17ha		水稻、野菜、果樹類	1.17ha		203	
40	利用者	水稻、野菜、果樹類	0.96ha		水稻、野菜、果樹類	0.96ha		246	
41	利用者	野菜	0.30ha		野菜	0.30ha		271	
42	利用者	水稻、野菜	1.33ha		水稻、野菜	1.33ha		334	
43	利用者	野菜	0.58ha		野菜	0.58ha		345	
44	利用者	水稻、野菜	0.73ha		水稻、野菜	0.73ha		383	
45	利用者	水稻	1.13ha		水稻	1.13ha		405	
46	利用者	水稻、野菜	1.26ha		水稻、野菜	1.26ha		475	
47	利用者	野菜	1.27ha		野菜	1.27ha		483	
48	利用者	水稻、野菜	0.91ha		水稻、野菜	0.91ha		484	
49	利用者	野菜	0.35ha		野菜	0.35ha		503	
50	利用者	水稻、花き	0.06ha		水稻、花き	0.06ha		575	

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和16年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
101	利用者		野菜	0.17ha		野菜	0.17ha		3455	
102	利用者		野菜	0.17ha		野菜	0.17ha		3475	
103	利用者		水稻	0.12ha		水稻	0.12ha		3501	
104	利用者		野菜	0.16ha		野菜	0.16ha		3572	
105	利用者		野菜	0.15ha		野菜	0.15ha		3704	
106	利用者		野菜	0.06ha		野菜	0.06ha		3756	
107	利用者		野菜	0.14ha		野菜	0.14ha		3809	
108	利用者		野菜	0.13ha		野菜	0.13ha		3932	
109	利用者		野菜	0.09ha		野菜	0.09ha		4045	
110	利用者		野菜	0.23ha		野菜	0.23ha		4154	
111	利用者		野菜	0.11ha		野菜	0.11ha		4184	
112	利用者		野菜	0.11ha		野菜	0.11ha		4232	
113	利用者		野菜	0.10ha		野菜	0.10ha		4391	
114	利用者		野菜	0.08ha		野菜	0.08ha		4483	
115	利用者		野菜	0.04ha		野菜	0.04ha		4848	
116	利用者		野菜	0.01ha		野菜	0.01ha		4995	
117	利用者		野菜	0.07ha		野菜	0.07ha		5029	
118	利用者		野菜	0.01ha		野菜	0.01ha		5050	
119	利用者		水稻	0.27ha		水稻	0.27ha		5717	
120	利用者		野菜	0.03ha		野菜	0.03ha		6320	
121	利用者		野菜	0.03ha		野菜	0.03ha		6511	
122	利用者		野菜	0.03ha		野菜	0.03ha		6572	
123	利用者		野菜	0.02ha		野菜	0.02ha		6814	
124	利用者		野菜	0.01ha		野菜	0.01ha		8001	
125	利用者		野菜	0.59ha		野菜	0.59ha		9966	
126	利用者		野菜	0.19ha		野菜	0.19ha		9981	
127	利用者		野菜	0.12ha		野菜	0.12ha		9986	
128	利用者		水稻、野菜	0.93ha		水稻、野菜	0.93ha		9987	
			合計	72.39ha			72.39ha			

西野・大谷・深淵地区-1





凡例	
	今後検討
	耕作者（自ら耕作）
	受け手募集（売買・貸借・委託希望）
	令和7年4/1以降貸借有り（利用権・中間管理・農地法3条・農作業受委託）
	認定農業者・認定新規就農者

西野・大谷・深淵地区-2

地域計画(変更案)

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	(第1回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	香南市 (39211)
地域名 (地域内農業集落名)	西野・大谷・深淵地区 (仁尾島、上野、深淵、中組、野田、西町、中町、東町、東中筋、中筋、深淵(佐古村)、大谷、山下)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	175.8 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	126.2 ha
② 田の面積	113.0 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	13.2 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

当地区は、露地では水稻・ショウガ・ニラが、施設園芸ではニラ・ピーマン・花き(トルコギキョウ・ラン)が栽培されている。

<地域農業の現状>

西野地区は市の中心部に位置し、宅地と農地が混在している。また、担い手がいらないことから宅地への転用が多い。

大谷地区は、ほ場整備が行われておらず、狭小な区画が多く、市街地に近いため宅地への転用がある。

深淵地区は、ほ場整備地が多く、露地栽培・施設園芸ともに盛んである。また、市がサポートハウスを建設し、新規就農者の確保・育成に向けて支援を行っている地区である。

<地域農業の課題>

・宅地への転用が多くあることから、今後も優良農地の確保が難しい。

・新規就農者を確保・育成しつつ、地域住民などを交え、地域全体で農地を利用していく仕組みづくりが必要。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

西野・大谷地区は、今後も宅地化が進む見込みであるが、農地は水源涵養や緑地化、景観形成等の多面的機能を有していることから、地区内外の農業を担う者(半農半X等の多様な耕作者)の受入れや、市民農園活用等によりできる限り農地を維持していく。

深淵地区は、今後も地権者・耕作者の意向把握に努め、農地中間管理事業を活用して、地元の認定農業者や地域外から入作を希望する法人等に可能な限り農地の集積・集約化を図っていく。

地域全体で農地を利用していくため、農地を守る観点から、今後、水稻栽培を行うためにコンバイン等の機械の共同利用の仕組みづくりを目指す。